

■ 指定管理者制度導入施設 中間評価シート ■

1 基本情報

公の施設名	相模原麻溝公園ふれあい動物広場
指定管理者名	公益財団法人 ハーモニイセンター
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日まで(5年間)
施設設置条例	相模原市都市公園条例
施設の設置目的	公共の福祉の増進に資する。(都市公園法第1条) 市民の憩いの場及び市街地のみどりの創出を図る。
施設概要	◆相模原麻溝公園内ふれあい動物広場：動物舎12部屋490.55㎡、救護舎3部屋132.00㎡、ポニー舎1部屋340.52㎡、鹿舎1部屋90.00㎡、アライグマ・リスザル舎4部屋65.14㎡、牛・豚舎4部屋88.00㎡ 展示コーナー：常時30種以上の展示、ふれあい動物広場コーナー：常時5種以上配置、ポニー乗馬場：常時3頭以上配置
施設所管課	環境経済局 公園課

2 管理実績

項目（単位）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数合計（人）	68,988	38,233	52,861		
利用料金合計（円）	6,814,900	4,607,930	6,805,370		

3 成果指標の達成度

評価（5評価）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価点 (20点満点)	評価点 3.3
	C	D	C				

指標	
指標名（単位）	ポニー乗馬人数(人)÷参加者数(人)
指標式と指標の説明	指標に対する過去の実績値から目標値を設定し、それに対する達成度を算出する。 達成度＝実績値/目標値

項目（単位）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値（人）	82,500	75,000	63,000		
実績値（人）	68,988	38,233	52,861		
達成度（%）	83.6%	51.0%	83.9%	#DIV/0!	#DIV/0!

4 事業の実施状況

評価 (5評価)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価点 (20点満点)	評価点 17
	A	A	S				

市が指定する事業

主な事業名	内容等	効果等
ポニー乗馬	ポニーの引き馬 2歳～小学校6年生	感染防止のため制限ありの実施であるが、利用者数は徐々に戻ってきている。利用者から「コロナ禍でもプログラムを実施してもらえてうれしい」という声をいただいた。
小動物とのふれあい	モルモットなどの抱っこやふれあい	
障がいのある児童のためのポニー乗馬	乗馬・馬小屋掃除・手入れ等 市内在住4歳～中学生(障がい児)	コロナ禍の影響で参加数は減少しているが、貴重なお出かけ先として根強い人気があり、利用者から「コロナ禍でもプログラムを実施してもらえてうれしい」という声をいただいた。
動物クラブ	飼育体験 小学校3年生～中学生	感染症対策として人数・時間の制限をかけている状況であるが、子供達の居場所として機能している。
動物フェスティバル	日常のプログラムの他 各種ゲーム、アトラクションを場内に設置	コロナ禍の影響で中止となった年もあったが、工夫をしながら再開し、徐々に活気が戻りつつある。

自主事業

主な事業名	内容等	効果等
子どもポニーボランティア	ポニー教室のお手伝いなど ポニー教室参加経験者 (小学1年生～中学3年生)	他人の喜びを自分の喜びに感じられる、心豊かな成長を促すことが出来た。
出張動物教室	ポニー・小動物を施設に派遣 市内及び近隣市町の公共施設が対象	動物広場へ足を運ぶことが難しい子供達に、動物とのふれあいを提供することが出来た。
さがみはらっこポニーキャンプ	宿泊ポニーキャンプ 市内在住の1年生～中学3年生	非日常の環境での異年齢交流を通じて、特別な学びの機会を提供することが出来た。
親子二人乗り乗馬	保護者と2歳から小学3年生	一人でポニー乗馬をする勇気を持っていない子供達に、馬に乗るきっかけを提供することが出来た。また、親子での特別な体験の機会を提供することができた。
動物の餌の販売	小動物・ミニチュアホースのエサあげなど	年齢制限を設けていないため、年齢を問わず多くの方に気軽に利用いただくことが出来た。

5 利用者の満足度

評価（5評価）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価点 (20点満点)	評価点
	B	B	B				10

利用者満足度調査

調査手法	職員が直接アンケートを依頼、アンケートコーナーを設置
目標値の基準	4段階評価のうち「とても思う」「思う」合わせた割合

項目（単位）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値（%）	100.0	100.0	100.0		
実績値（%）	98.0	99.0	99.0		
達成度（%）	98.0%	99.0%	99.0%	#DIV/0!	#DIV/0!

利用者意見の把握に資するその他の取組

主な取組事項	取組内容
意見アンケート調査	苦情、意見、提案などを自由な形式で管理事務所入口に置いたアンケート用紙に記入いただき目安箱にいらしていただく

利用者意見に対する対応

主な意見	対応内容
夏場に園内で涼めるスペースが欲しい。	扇風機、日よけテントを設置した。
動物の種類を増やして欲しい。	プレーリードッグを新たに追加した。
臨時休業等が分かるようにしてほしい。	HP上で臨時休業の情報などをお知らせするようにした。

6 施設の経営状況

評価 (5評価)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価点 (20点満点)	評価点
	C	S	S				

施設の収支概要

(千円)

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
収入 (a)	92,966	104,097	100,005		
指定管理料	86,152	85,883	84,834		
利用料金収入	6,814	4,608	6,805		
その他の収入	0	13,606	8,366		
支出 (b)	97,141	94,238	88,371		
人件費	50,804	46,510	51,291		
本社管理経費	17,110	15,384	9,861		
その他の支出	29,227	32,344	27,219		
本体事業収支 【(a)-(b)】 (c)	-4,175	9,859	11,634		
自主事業収入 (d)	15,610	6,537	10,476		
自主事業支出 (e)	13,389	12,104	12,262		
自主事業収支 【(d)-(e)】 (f)	2,221	-5,567	-1,786		
全体収支 【(c)+(f)】	-1,954	4,292	9,848		
備考					

7 管理業務の履行状況

検査項目	確認結果				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
管理業務	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
危機管理	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
人員配置・地元活用	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
現金管理	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
会計・経理	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
情報セキュリティ	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
情報公開・個人情報保護	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
加点の有無	有	有	無		
主な加点内容	売店機能の充実	堆肥や落ち葉を再利用する等の有効活用する環境配慮への取組			

8 提案事項のうち未実施のこと

主な事項	内容等	理由・今後の実施見込等
(なし)		

9 提案事項にないが実施したこと

主な事項	内容等	効果等
モンキーランチ	リスザルのエサやり体験	普段、近くでふれあうことの出来ない動物と関わり、魅力を伝える機会を提供することが出来た。
お散歩ポニー	ミニチュアホースとお散歩 4歳以上で自立歩行のできる方	ポニーにまたがるのが苦手な子供たちにポニーとふれあう機会を提供することが出来た。

10 指定管理者の自己評価

令和元年度末から新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、特に令和2年度は利用者数も大きく落ち込んだ。しかし、制限を徐々に緩和する過程で、利用者数は順調に回復している。まだ完全に制限を撤廃するには至っていないが、工夫をこらし、利用者の要望に応える運営を行っている。「コロナ禍でもプログラムをしてもらえてうれしい」といった利用者からの声もいただいております、市民の憩いの場としての機能を果たしていると考えている。

これからも情勢の変化を的確に捉え、変更を加え、利用者満足してもらえる動物広場の運営に努めたい。

11 所管課意見

指標においては、利用者満足度の項目においてすべてB評価となっているが、目標値の設定が高すぎるためである。実績値98～99%と高い水準で数値が推移しており、利用者からの満足度の高さなど日常管理に尽力いただいている点について大いに評価できる。実施事業に関してはポニー乗馬において3年間目標値を下回っているが、コロナの影響が大きかったものと思われる。コロナの行動制限も解除の方向であることから、今後は徐々に回復傾向にあると考えられ、動物広場のさらなる魅力発信の為に新規イベントや収益性のある事業などに積極的に取り組んでいきたい。

12 選考委員会意見

この3年間はコロナ感染症の影響を受け、入場者の減少や感染症防止策の実施など厳しい状況にあったが、事業者の創意工夫により事業の達成に最大限の努力を重ね、一定の成果を達成したことは評価できる。

今後は今以上に積極的な事業展開と利益還元を期待する。

利益還元については利用者にもどのように還元し、その成果についても示していただきたい。

また、次世代を担う職員の技術継承および人材育成の取り組みをお願いしたい。

総合評価（自動判定）

B

(63/100)

